

中央地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15

場所：よかセンター

※ 平成22年度 第5回目

平成23年2月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	一番街商店街振興組合 男性	① 一番街商店街の19、20番街区で再開発準備組合の設立に向けて取り組んでいるが、県の補助が非常に厳しい中で、市としてどう取り組まれるのかお聞きしたい。	① 中央駅の東口駅前広場に隣接いたします19、20番街区では、地元地権者の皆さんが再開発準備組合の設立に向けて検討を行なっていると伺っています。本市としましては、地権者の方々のこれらの取り組みを支援していかなければならないと思っていますし、これまでも22、23番街区の再開発について市も皆さんと一緒に整備を進めたと思っています。その際にも、県のお力添えを賜ったと聞いていますし、そのことが皆さんの再開発に対して大きな力になったと思います。 私共も中央駅周辺の再開発や地域のまちづくりにできる限りの支援をしていきたいと考えていますので、今後、地権者の皆さんの準備組合ができましたら、お互いに情報を共有しながら開発に向けての取り組みを進めていきたいと思っています。 また、その中で県にもこれまでと同様に取り組みを進めていただければと思います。県も市も財政状況は大変厳しいですが、鹿児島市の今後のまちづくりにとって重要な中央駅周辺の開発について、県にも応分の負担や責任を持っていただかなければならないと思います。そういう意味で、地元の皆さんからも県へ要望していただき、そして、私共も県へ要望していききたいと思いますし、市としても支援をしていければと思います。	建設局	※市長回答のとおり
2	中央町ベル通り会 男性	② ベル通りは、カラー舗装や街路灯の整備に取り組んで、商店街として整理されてきたが、電線が非常に多いので、電線の地中化か、若しくは電線が道路を左右に横断しないような整理をしてほしい。	② 電線類の地中化については、計画的に整備を進めており、中央駅周辺においては、武町から鶴丸高校までの区間を段階的に整備しています。今後はそれを踏まえ、関係機関である水道局やガス会社、電力会社等と協議しながら、計画的に進めていきたいと思っています。 お話がありましたように、それぞれの地域で景観上の問題等もあります。全てのご要望にお応えするのは難しいと思いますが、電線類の地中化は、本市のまちづくりのひとつの大きな方針として定めていますので、これからも、地域の皆さんからのご要望等を十分勘案しながら、地中化の計画を進めていければと思います。	建設局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島中央駅西口通り会 男性	③ 西口はホテルが非常に増え、県外客が多くなったので、西口にも観光案内所を設置してほしい。	③ 中央駅の東口・西口の形態は急激に様変わりをしています。鹿児島の玄関口としての街になってきていますが、そのことで色々な課題も出てきているように思います。 観光案内所につきましては、現在、中央駅改札口の正面に移設し、充実させています。やはり、新幹線の全線開業をにらんで、JRを利用される方に、行き先が東口や西口に関わらず、そこで案内をしてもらおうということでした。 もう一つは、西口の1階にある鹿児島中央駅市民プラザにおいても、観光・特産品ガイドブック等を設置するなど観光情報の提供を行っているところでございます。西口に、別途、観光案内所を設けるのは難しいと思いますが、1階の市民プラザを活用した対応ができないか考えてみたいと思います。	経済局	※市長回答のとおり
		④ 西口は大変交通量が増え、連休の時など、ロータリーの中はツアーバスや業務用車両等で渋滞する。バスの渋滞緩和策を検討してほしい。	④ 渋滞対策は大きな課題であります。お話がありましたように、ロータリーには、バスやタクシー、民間車両等の乗り入れがあって大変混雑しています。 今、この地域については、県、市、JR九州及び日本郵政の4者で協議会を作って、今後の対策をどうするかについて協議を行っています。県工業試験場跡地やJR・郵政の所有地、市道や公園を含めて、どのような形態にするかということを、県が事務局になって検討しています。 本来なら、新幹線が全線開業する前に結論を出せれば良かったのですが、そこまで協議が進んでいません。お話があったことは、県にも伝えて、できるだけ早く対応していただくように要請しておきたいと思っておりますし、皆様のご意見やお力添えを賜りたいと存じます。	建設局	西口のロータリーを含めた鹿児島中央駅周辺の交通問題については、関係機関と連携を図りながら、問題解消に向けた取組みを行っていきたく考えております。
4	宮田通り会 男性	⑤ 宮田通りは、県工業試験場跡地などで駅から分断され、観光客等を十分引き込んでいない。駅の「出合い杉」から通りに繋がる道路は街路灯が少なく、また、通り会や町内会の予算も厳しいことから、市として照明設備を充実させて夜の通りを明るくしてほしい。	⑤ 多くの皆さんが中央駅西口を利用されると思いますので、夜の環境改善は、早急に対応しなければならない課題ではないかと思えます。 こういった場所にどのような照明設備を設置すれば良いか、現地を調査させていただいて、早急に対応したいと思えます。	建設局	道路照明灯の設置につきましては、設置基準に基づき交通安全上必要な交差点部や屈曲部（カーブ）等について設置を行っているところです。 ご要望の市道武33号線（西口～宮田通り）につきましては、現地調査いたしましたところ、交差点など設置基準に基づく箇所については、既に設置されているところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	西銀座通り会 男性	⑥ 東口では、中央郵便局に大型車両が入ってくるし、アミュプラザの駐車場に向かって車が集中してくる。車が青信号で交差点に進入しても、動けなくなるような交差点が何か所かあるので、対策を考えてほしい。	⑥ 交通渋滞の解消については、県公安委員会を含めて、県、市、地域の皆さんと知恵を出していかなければならないと思います。特に、大型車両の往来が激しくなると、交通事故につながる可能性がありますし、混雑することでその危険性が高まり、観光客の皆さんへの悪影響が無きにしても非ずではないかと思えます。 中央駅周辺の交通対策は従前からの課題であり、我々も路線を変えたり、信号について県警と協議したり、色々知恵を絞ってはいますが、なかなか抜本的な対応になっていないと思います。先ほど申し上げた4者協議会や交通対策に関する協議会の中で、早急に対応策を見出していただげるように要請していきたいと思えます。	企画財政局 建設局	中央駅周辺の交通問題については、県・市・関係機関・団体・地域の皆様等が十分な連携を図り、現状や課題について共通の認識を持ったうえで、ハード面の制約がある中で何ができるのかを検討する必要があることから、新幹線全線開業後の状況も踏まえながら、関係者で構成する会議などを活用して対応してまいりたいと考えています。 なお、交通案内表示など個々の案件については、関係者で協議を進め、対応可能なものから改善を図ってきているところです。
6	一番街商店街振興組合 男性	⑦ 中央駅近辺を、おはら祭の会場に組み入れてもらえないか。	⑦ おはら祭は、今年は第60回の節目を迎えることから、これまでよりも趣向を凝らした新たな企画を、皆さんにもお示ししていければと思っています。その中で、お話のありました、中央駅まで踊り連を延ばすというのも一つのアイデアではないかと思えます。 しかしながら、大きな課題として、交通の流れをどうするかということがあろうかと思えます。今は、県警やバス協会、タクシー協会、トラック協会などの関係団体の皆さんのご了解を得て、高見馬場から市役所前までの踊りゾーンが確立していますので、今後、節目の年に当たって、そのようなことができるかどうか十分に協議させていただきたいと思えます。 新幹線全線開業で、中央駅から山下町まで踊り連が張り付くということは、相当大きなインパクトを与えることではないかと思えますが、そのためには色々な課題があろうかと思えます。それらをクリアできれば、是非実施したいと思えますが、今後、おはら祭振興協会の中で議論をさせていただきたいと思えます。	経済局	おはら祭の中央駅方面への踊りゾーンの延長につきましては、県警との協議や交通調査等の結果、本市の主要な道路の交通処理上、中央駅までの連結した踊りゾーンの設定は困難なこと、また交通を確保すると踊りゾーンが分断されることから、延長は難しいところであります。 なお、今年は第60回の節目の大会であり、新幹線全線開業もあることから、記念の祭りとして中央駅でのイベント実施など祭りの内容を拡充して実施し、できるだけ市街地全体が盛り上がる祭りに行きたいと考えております。詳細については、おはら祭振興会において協議・決定することとしたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島中央 駅西口通り 会 男性	<p>⑧ おはら祭は歴史のある素晴らしい祭で、一系乱れない踊りもいいと思うが、観光客に見てもらおうという視点が足りないのではないか。</p> <p>鹿児島県内の各地域から特色のある踊り連が出ている“渋谷おはら祭”とは単純に比べられないが、もっと話題づくりをして、観光客が見て楽しいものに見直せないか。</p>	<p>⑧ 鹿児島市のおはら祭は、今、踊りやマーチング、地元芸能、若い皆さんの踊りの四部構成になっていますが、これまでの経緯を踏まえ、ご要望もお聞きしながら内容を変えてきています。お話があったような、観光客からの視点や、踊り手の視点といったものもあるかと思えます。これだけ大きな祭になりますと、多くの方々に参加していただいて祭を盛り上げていただければと思います。特に、九州新幹線が全線開業しますと、そのような視点も大事になってくると思います。趣向を凝らしたような踊りというものが、より一層充実できるように、おはら祭振興協会の中でも検討させていただきたいと思えます。最近、各団体が踊りにも趣向を凝らし、画一的ではなく、バラエティに富んだ踊りもしていただいていると思っています。</p> <p>渋谷おはら祭につきましては、鹿児島市と渋谷区が協定を結んで実施していましたが、平成16年から、NPOの渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会が運営することになりました。鹿児島県出身の方々が集まって色々な取り組みをしていただいていますので、各地域の様々な催しが出てきているようですが、元来は鹿児島市がもっと頑張っていかなければならないと思っています。</p> <p>やはり、鹿児島県や市が東京でアピールできるのは大変素晴らしいことですので、同様のことが鹿児島でもできればと思います。</p>	経済局	<p>現在のおはら祭は、第51回から、総踊りや、パレード・マーチング、伝統芸能披露に、ダンスおはら21という4部構成で実施しております。</p> <p>今年は第60回の節目の大会であることから、記念の祭りとして中央駅でのイベント実施など祭りの内容を拡充して実施することとしており、今後とも南九州最大の祭りとして、踊り連の方々や、関係者の協力をいただきながら、さらに盛り上げてまいりたいと考えております。</p>
		<p>⑨ 鹿児島は新幹線が開通して交通の便が良くなり、ホテルも増えているが、市内の便利な場所に、大きな学会等を誘致できるようなコンベンションホールが無い。経済効果も大きいと思うので、是非、設置を検討してほしい。</p>	<p>⑨ 多くの方々に鹿児島に来ていただくために、コンベンションホールを整備することは一つの課題であると思えます。このことは、鹿児島市だけでなく、鹿児島県や県市長会、県町村会、自治体、商工会議所、民間団体を含む県全体で連携を図りながら進めていかなければならないと思えます。</p> <p>伊藤知事が就任直後、「鹿児島に大きなコンベンションホールが無いのは一つの課題ではないか。」とお話されたことがあります。実施に向けての具体的な案は出てきていない状況です。そういうご要望があるということをお私共も十分受け止めて、県や商工会議所をはじめとする経済団体にもお話をしたいと思えます。また、鹿児島には観光コンベンション協会という、コンベンションの誘致を担う組織がありますので、コンベンションの振興を図るといった観点から、本市だけでなく県全域の大きな拠点としてのコンベンションホールが、どういう形で実現できるかということについて検討すべき課題の一つではないかと思えます。</p>	経済局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	宮田通り会 女性	⑩ 宮田通りの踏切は、歩道が片側にしかなく不便なので、両側に整備してほしい。	⑩ 宮田通り踏切については、危険だということで以前から要望をいただいております。そういったご要望を踏まえてJR九州と協議を進め、今、歩道を設置し拡幅するという協議が整っていますので、順次整備をしていきたいと思っています。お話のあったことについても、整備をしていく中で話をしていければと思います。 (交通政策課長補足) 宮田通り踏切の拡張計画については、建設局が取り組んでいます。今、歩道橋を撤去して歩道を造ろうということで、用地交渉等を進めていますので、ゆくゆくは両側に歩道ができると思っていただければいいのではないかと思います。	建設局	宮田通り踏切については、平成21年度に歩道橋の撤去を行い、現在、歩道設置に向け、踏切道の拡幅に取り組んでいるところです。今年度は踏切道の拡幅部分の用地交渉を行っており、順調にいきますと、平成23年度に歩道設置の工事を行う予定です。
9	宮田通り会 男性	⑪ 宮田通りの踏切は、車椅子のタイヤが線路の間にはまる等の危険があり、怖くて通れないとの声を聞いた。現在、歩道の整備を進めているということなので、安全に配慮してほしい。	⑪ バリアフリーには十分配慮していかなければならないと思いますので、整備をする際に、そのような対応が図れるよう担当部局に話をしておきたいと思います。	建設局	歩道については、バリアフリーに配慮した整備に取り組んでいるところです。踏切については、JR九州が管理しており、ご指摘の線路の隙間についてはJR九州に確認したところ、列車の車輪が通過する部分であり、構造的な基準から隙間の幅を縮小することは難しいことであるとの回答でした。
10	鹿児島中央駅西口通り会 男性	⑫ 西口は電線類が景観を損ねている。以前、西口の通りで電線類の地中化について相談したら、歩道が狭くて地上機が置けないために実施は難しいとのことだった。そこで、九電などの関係団体と協議する必要があるが、新幹線の全線開業までに電柱を整理して電線の渡りを無くすと聞いたが、状況を教えてほしい。	⑫ 担当部局に話をして、早急に調べさせます。	建設局	九電、NTTと協議したところ、電線の横断をなくすためには電柱の新設や高圧ケーブル等の設置のため多額の費用を必要とし、また電柱の新設によって地下埋設物の移設や歩道幅員の減少、マンション住民の視界妨げなど様々な問題が生じるため、現状において対応は困難であります。 なお、全区間でなく、一部区間でも横断をなくして欲しいとの要望などもあることから、今後引き続き関係機関と協議してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年1月18日（火）18：00～19：15
場所：よかセンター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	鹿児島中央駅西口通り会 女性	⑬ ホテルを開業してもうすぐ1年になる。国内外を問わず団体客の宿泊が増えているが、観光バスの駐車場確保が難しくなっている。 新幹線の全線開通を控えて大動脈は整っているが、バスツアーとの連携を図るためのバス駐車場が不足しているため、市有地等を活用できないか。	⑬ 大変重要な課題だと思います。鹿児島市の市有地がこの界隈や中心街にあれば活用できるのですが、後は、県有地や民有地を借りることができればと思います。新幹線対策・観光客の受入対策として、大変大きな課題だと思いますし、鹿児島がこれから大きく飛躍していかねばならないという時期に、体制が整っていないために観光客を逃すということはあってはならないことだと思います。 ホテルを営んでいる方々や旅行代理店等が共通の情報として持っておくことで、観光客を受け入れるときに、皆さんのお役に立つと思いますので、情報を皆さんにもお知らせしたいと思います。	企画財政局 経済局	（企画財政局） 鹿児島中央駅西口周辺では、現在、バスの駐車場として活用できる未利用地はありません。 遠隔地でもかまわなければ土地開発公社の保有地等の活用も含め検討していきたいと思います。 （経済局） 夜間駐車できるバス駐車場としては、民間のいわさきバスの浜町駐車場と仙巖園があるようです。 また、天文館地区のホテル協議会では、ドルフィンボートと独自に協定を結び10台分借りておられるようで、中央駅周辺のホテル・旅館の皆様から、地域の課題としてご提議いただく中で、協議・検討させていただきたいと考えております。
12	一番街商店街振興組合 男性	⑭ 中央駅周辺の夜が賑やかになり、治安の悪化が懸念されることから、防犯カメラの設置を商店街で検討しているが、市の助成があるのか。	⑭ そういった計画がありましたら、市の方にご相談いただければと思います。 （企業振興課長補足） 商店街で防犯カメラを設置する場合、アーケードやカラー舗装と同じように「構成員の事業共同化のための共同施設」という位置づけで補助対象となりますが、防犯カメラは、ある意味で人を監視することになりますので、プライバシーにも配慮した運用基準というものを定めた上で実施していただくことが前提となります。 補助率は事業費にもよりますが、基本は10%で、「中心市街地活性化基本計画」に位置づけてあれば15%となります。	経済局	商店街の防犯カメラについては、商店街やその構成員の財産（アーケードや店舗等）を守るための共同施設として設置する場合には助成対象となりますが、商店街が公道を日常的に監視するものは対象とはなりません。 商店街が防犯カメラを設置する場合には、その目的や必要性を詳しくお聞きし、通行者のプライバシーに対する配慮や画像の閲覧、提供のあり方などの運用方法についてもあわせてお尋ねした上で、助成について検討することになります。